

# 雄物川の出水対応について ～ホットラインの実施と効果～

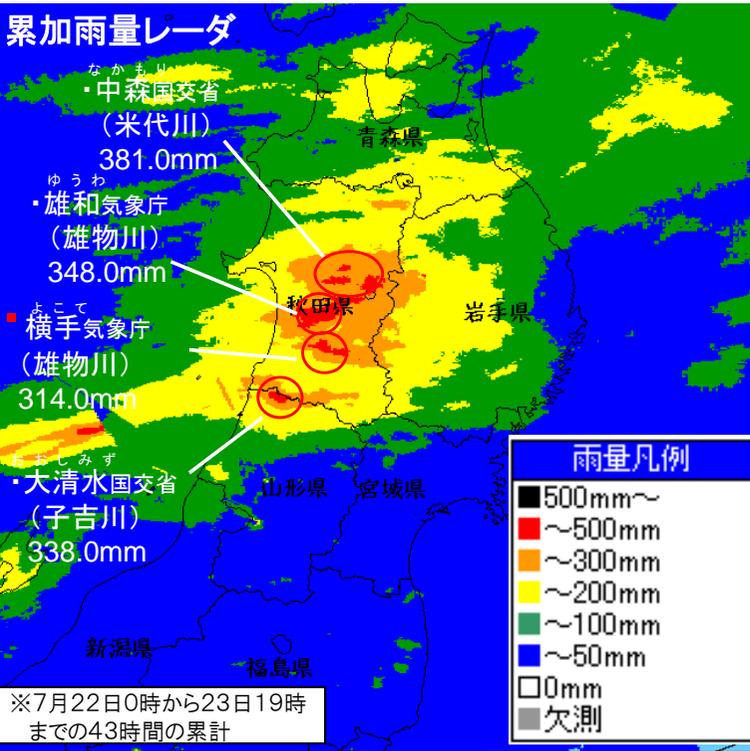
平成29年11月22日

東北地方整備局 水災害予報センター

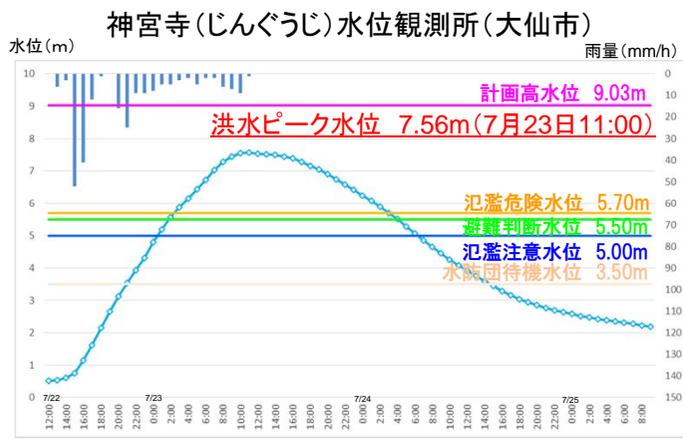
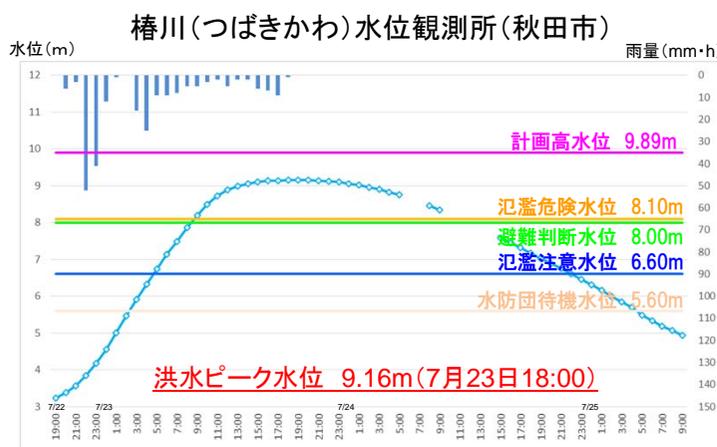
# 7月22日からの豪雨おける洪水概要

活発な梅雨前線の影響で、秋田県で非常に激しい雨が降り、累加雨量は多いところで300ミリを超える大雨となり、多くの観測所で24時間雨量観測史上最大を記録した。

雄物川の椿川水位観測所では、昭和11年の観測開始から最大の水位を記録した。また、雄物川の神宮寺水位観測所では、観測史上最大(平成23年6月)に次ぐ、第二位の水位となるなど、記録的な洪水となった。



## 雄物川主要地点 水位状況



## 雄物川被害状況



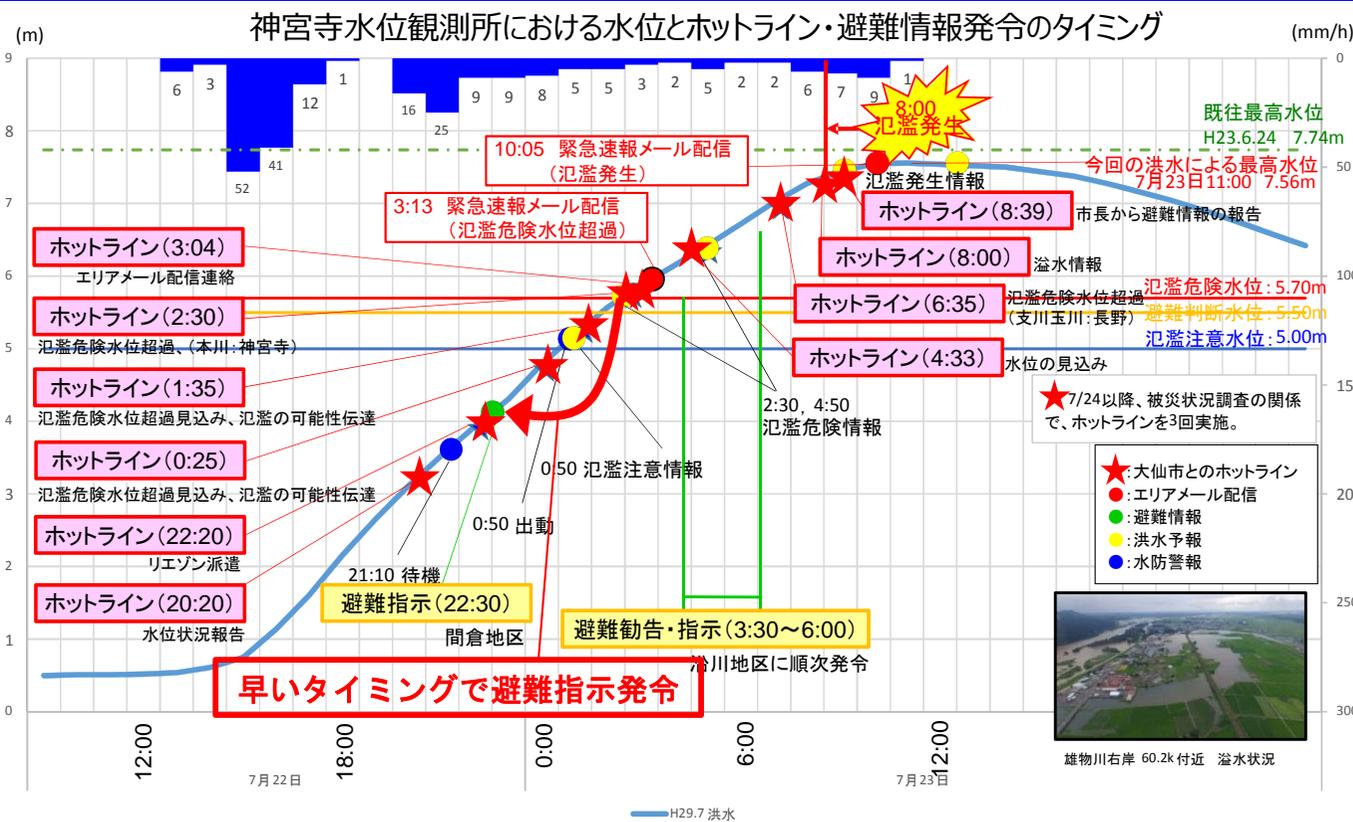
## 河川出水状況(直轄河川)

- レベル5(溢水) <1河川>  
・雄物川
- レベル3(避難判断水位 超過) <1河川>  
・子吉川、
- レベル2(氾濫注意水位 超過) <1河川>  
・米代川、北上川

# 7月22日からの豪雨におけるホットラインの実施状況と効果

- 雄物川（国管理区間）では、河川事務所と自治体で作成していた水害対応タイムラインを活用し、河川事務所長等と市長等のホットラインを3市に延べ21回（※）実施。（※7月22日から24日までに、被害の生じた雄物川水系で事務所長等と市長等との間で実施したもの）
- タイムラインを踏まえた緊密なホットラインにより、湯沢河川国道事務所長から大仙市長に河川の状況等を詳しく伝え、それを受けた市長は、対象地域へ早いタイミングで避難指示を発令し、住民への避難の呼びかけを実施。合わせて国土交通省は、緊急速報メールにより河川情報を住民等に配信。

## 湯沢河川国道事務所から大仙市へのホットラインの例



**【位置図】**

水系	県	市町村	回数
雄物川	秋田県	秋田市	6
		大仙市	13
		横手市	2
合計			21

★7/24以降、被災状況調査の関係で、ホットラインを3回実施。

★大仙市とのホットライン  
●: エリアメール配信  
●: 避難情報  
●: 洪水予報  
●: 水防警報

雄物川右岸 60.2k 付近 溢水状況

**寺館大巻地区**

**間倉地区**

雄物川 左岸46.0k付近 溢水による住家浸水

雄物川 右岸60.2k付近 溢水による住家浸水

**大仙市長のコメント**

**緊急速報メール**

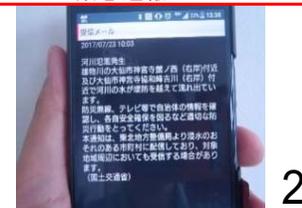
### <被害状況>

浸水面積 32.0km<sup>2</sup>  
浸水家屋 1,028戸

### <避難情報発令状況>

避難勧告 8,051世帯 21,584人  
避難指示 8,486世帯 22,799人

・7月洪水では、事務所長からホットラインの度重なる情報提供がなされ、それを踏まえて、適時の避難情報発令を行えた。



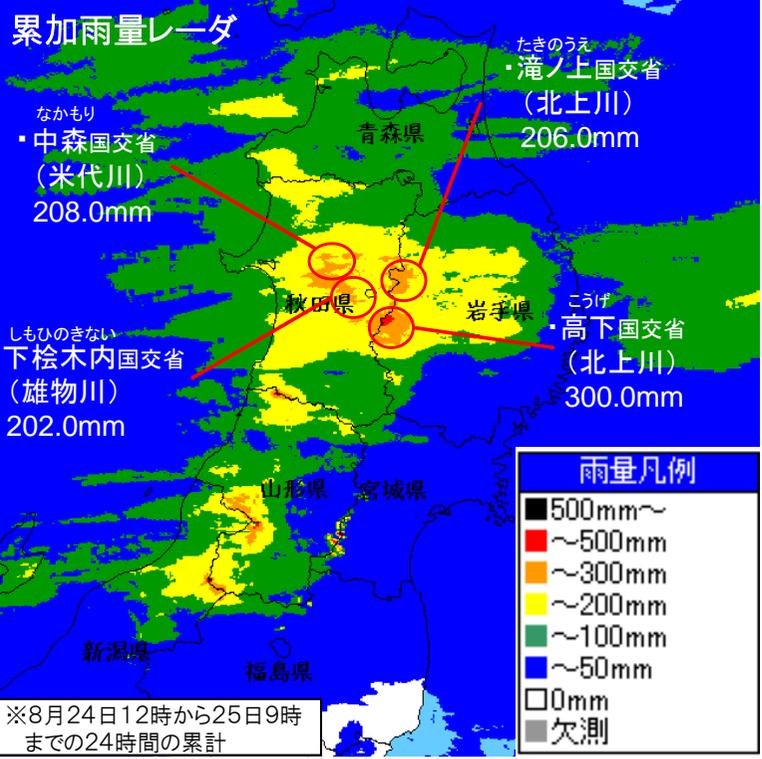
※被害状況、避難情報発令状況は雄物川全体数値であり、速報値であるため今後変わる可能性があります。

# 8月24日からの豪雨における洪水概要

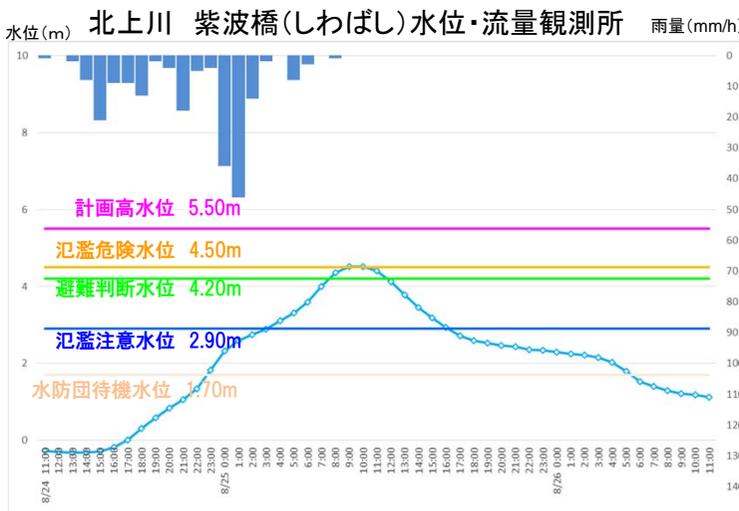
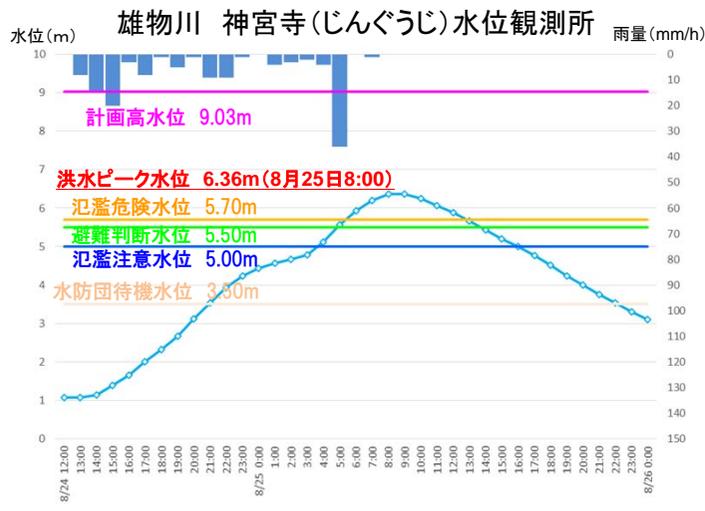
前線を伴う低気圧の影響で、24日昼前～25日の明け方にかけて、東北北部で非常に激しい雨が降り、**累加雨量は多いところで300mmに達した。**

特に、**秋田県の玉川ダムでは過去最高の流入量(1,200m<sup>3</sup>/s)を記録し**、雄物川の神宮寺水位観測所、玉川の長野水位観測所の2観測所で氾濫危険水位を上回るなど、**先月(7月22日)に続き短期間のうちに二度の大きな洪水となった。**

岩手県の北上川では、紫波橋水位観測所の1観測所で氾濫危険水位を超過した



### 主要地点 水位状況



### 被害状況(雄物川)



### 河川出水状況(直轄河川)

- レベル5(溢水) <1河川>  
おものがわ  
・雄物川
- レベル4(氾濫危険水位超過) <1河川>  
きたかみがわ  
・北上川
- レベル3(避難判断水位超過) <1河川>  
こよしがわ  
・子吉川
- レベル2(氾濫注意水位超過) <1河川>  
まねしろがわ  
・米代川





## ○概要

亶理町<sup>わたりちょう おおくま</sup>逢隈分団は、台風21号の影響に伴う出水に際し、27名が出動。  
 亶理町では、降り始めからの雨量が314mm(气象台:亶理)を観測する大雨により河川が増水。

町内では大雨に伴う道路冠水等の被害を受ける危険な状況の中、地域の巡視や堤防漏水箇所での月の輪工法を行い人的被害の軽減や地域の安全・安心のため活動した。



活動時間	出動延べ人数	主な活動内容
10/22~10/23 約25時間	27名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月の輪工(3箇所)</li> <li>・警戒巡視(市内全域)</li> <li>・警戒広報(市内全域)</li> </ul>

## 水防活動(月の輪工法)

阿武隈川右岸6k地点 今泉地区の漏水箇所にて水防工法を実施。水防団員の他、地域の自主防災組織の2名も協力し、月の輪工3箇所実施した。

## 【地域の声】



・今泉地区自治会長  
渡邊光一さん

地区長として、水防団と地区の連携をとれるように日頃から心がけている。

阿武隈川の出水は時間も長く、水防活動は夜間作業も多いので、水防団が活動しやすくなるような配慮(飲食物の提供など)も行っている。

水防団の人たちを地域の方は頼りにしている。



【月の輪工法 3箇所設置】

【水防活動状況】